

緑窓

第13号



青山学院中等部緑窓会会報
2004年(平成16年)5月1日発行
青山学院中等部緑窓会 発行人 今村和久
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
電話/FAX 03-3498-5387
E-mail: ryokousukai@ceres.ocn.ne.jp

新たな活動を期待できる緑窓会に

中等部緑窓会会長 今村和久(十期)



本年も新しい年度が幕を開けました。今年の中等部の五十五期卒業生を新たに迎え、緑窓会の会員数も一万五千名を超えるほどになり、まことに喜ばしい気持ちでいっぱいです。一方、今も昔も中等部に通わせて頂き卒業させて頂いた先生方、保護者の方々に改めて感謝の念を抱かざるを得ません。同時に、青山学院の建学の精神と教育方針を幼いながらも感受性の強い年頃に実体験できましたことは、何にも替えがたい、得がたい賜物を与えられたものと神様に感謝したいと思えます。一九五十年十月に緑窓会が発足し、今秋には今年の新入会員の卒業期と同じ五十五年を経過することになります。

緑窓会では十五年前より、毎年「緑窓会の日」として、この青山学院の建学の精神と教育方針を支持して、原点・祝祭・継続をモットーにした活動を展開しております。一期から五十五期の七十歳から十五歳の同窓生の方々が同じ場所に集まり、共に語り合い、楽しみ、友誼を厚くする機会をつくり、かつ文化的にも精神的にも研鑽できるように継続していくことが会の使命であると考えます。

さて、緑窓会も会員数の増加と情報通信の手法の変遷に伴い、必要な対応をとることが必須になりつつあります。検討してみますと、老若男女により好みの通信手段、情報の内容が大きく異なります。何でも便利な方法の採用というだけでは解決できません。昨年度に、非常に遅ればせながらも何とかEメールを開発し、運営しておりますが、P/C関係に要する時間的、人的な実質的な運営能力の向上が要求されつつあります。元来の緑窓会の手作りの事務運営の良さを維持しながらも、さらに会員の皆様方との連絡や、中等部をはじめとする学校との連絡、そして青山学院校友会の重要な一員としての責務の遂行などのために、運営方法の改善をできるだけ早い機会に検討、実施していかなばならないと痛感しております。

そのためにも、本年度は役員改選の時期でもあり、これを機に会則を改訂し、少しでも若い期の方々に企画および実務関係の役割を担って頂くことを切望します。いつでも新たな対応をとれる状況を醸成し、着実な緑窓会の活動を継続し、いつまでも楽しく有益な会であり続けるようにしましょう。どうか皆様方には、気軽に緑窓会室を訪れて頂きます様に、心よりお待ちしております。

第十五回「緑窓会の日」二〇〇四年六月十二日(土)

実行委員長 伊藤正道(十五期)

中等部を卒業してから四十年にもなる私達十五期、今もって「中等部時代が一番輝いていた!!」と確信し熱烈に中等部での日々や、先生方を敬愛し大事にしている十五期が担当する今年の緑窓会は一味、いやガラッと違います。簡単に言えば、年齢差が五十七年にも及ぶ参加者に、いながらにして現在の中等部の状況を感じていただけるような企画を、現役やOBの先生方もご一緒にと考えました。たとえば中等部の校舎や、新築なったアリーナを探検する……。さらに今年中等部の国語の入学試験問題を実感してみるなど、滅多にない機会とおもいます。礼拝は二十二年間に亘り、中等部の宗教主任をお勤めいただいた、笹森建美先生(現在は、駒場エテン教会の牧師)のお説教を

久しぶりに懐かしく、お聞き下さい。

メインはヨーロッパを本拠地に活躍するソプラノ歌手の高橋信子さんのミニコンサート、さらにエッセイスト、山内美郷さんの歌詞の訳詩朗読があります。コンサートをお楽しみいただいた後には先生方に、現在の中等部のあれこれを熱く語っていただく、まあ、久しぶりの保護者会ともお考えいただければと思います。この保護者会は成績や通信簿とは一切関係がありませんので、お気軽にご参加いただければ、担当した十五期としても嬉しい限りです。初夏の中等部での一日を学生時代に戻り、存分にお楽しみいただければ、幸いです。

青山学院、中等部、大好きだ!!!



中等部校舎

二〇〇四年度

『緑窓会の日』 開催のご案内

十五期 吉田恵子(原田)

「いま、中等部は！」私たちの中等部に帰って、OB・現役の先生方との「保護者会」そして入試問題にチャレンジしてみませんか？

われらが先生方や校舎との触れあいの中で、中等部のいま！を知って、感じて、いろいろな顔にまた出会って下さい！

記

日時 二〇〇四年六月十二日(土)十三時～十七時

プログラム 第一部(中等部)十三時〇〇分～十四時二十分

一、教室での保護者会

二、二〇〇四年度入試問題

三、アリーナ探検

第二部(ガウチャーメモリアルホール)十四時四十分～十七時

一、礼拝

説教 ● 笹森建美牧師(元中等部宗教主任)

「ひと味違う青山学院―本多庸一先生の建学の精神」

奏楽 ● 上原 恵(十五期)

二、コンサートと朗読

ソプラノ ● 高橋信子(十五期)

ピアノ ● 羽石道代(東京芸大卒)

朗読 ● 山内美郷(十五期)

三、討論会 「中等部のいま！むかし！」

先生 ● 布施高中部副部长ほかOB・現役教師

司会 ● 川野公孝(十五期)

四、青山学院カレッジソング斉唱・伊藤順(十五期)

「緑窓会の日」ご報告

十四期実行委員長 崎田 克己

本年度の「緑窓会の日」が間近に迫りましたが、昨年六月七日の「この日」に幹事を務めました十四期を代表し、この紙面をお借りして、ご出席頂きました同窓の皆様、学校ご関係者、奏楽の真藤先生、並びに運営実行をお手伝い頂きました緑窓会委員の皆様に対し、同行事が盛会裡に終了出来ました事を改めてお礼申し上げます。

何れも十四期生である、野村祐之君の優しさに溢れる説教、小野有五君のウィットに富む大自然のお話、清瀬雅子さんの心に沁みるオルガン演奏、の中に懐かしい中等部時代を想い、歳月の流れの何かを感じて頂けたのではと願っております。

「緑窓会の日」は毎年卒業年次の順送りでご番幹事を務めている事はご存知の通りです。今回大勢の同期生と企画を考えるなかで、当番の期は必ず五十五歳という人生では最も脂

が乗って来る特別な歳回りにある事、この日が卒業以来、歩んできた夫々の人生を振り返り、改めて同窓生の活躍を知る良い機会になる事に思いを来たしました。

これからも各期の方々が趣向を凝らした楽しい企画を考えて行かれると思います。

「緑窓会の日」を「同窓生の五十五歳を楽しむ行事」として見て参加されても、この日を毎年の楽しみの一つにして頂けるのではないのでしょうか。



きました。

会終了後、スナップ写真と全体写真及び会の状況を記した礼状を参加された方だけでなく、参加できなかった方へも送りました。参加できなかった方の一部の方から、今回は必ず都合をつけて出席しますとの返事を頂きました。

二年後に、先生は定年になられます。その時に、大同窓会？の予定があるとの事。今回参加した方も、参加できなかった方も、ぜひ参加しましょう！先生、又、お会いしましょう！

二十八期のつどい

二十八期 神林浩子

六月七日(土)に東京全日空ホテル「ベガサスの間」にて、「二十八期のつどい」を開催いたしました。当日は、他期の同窓会もいくつかが開催されておりまして、先生方もかけもちでお忙しかったようですが、その中で平間健夫先生、田中保先生、武田賢三先生、斎藤三紗絵先生、金子琴江先生の五名にご参加いただきました。久しぶりの顔がつどい、なごやかで楽しい会となりました。

28期のつどい

日時：平成16年6月12日(土)
18:00 PMより

場所：センチュリーハイアット東京1F
リストランテ「マキャベリ」
新宿区西新宿2-7-2
Phone 03-3349-0111

会費：8,000円

幹事 石井貫太郎・橋本尚子(旧姓：岩城)
03-5702-2682



東京全日空ホテル「ベガサスの間」にて

緑窓会新役員

任期 二〇〇四年四月一日～二〇〇六年三月三十一日

()内数字は中等部卒期を示します。傍線の方々は各役員役割についての新任を示します。ほかの役割からの転任、および兼務の結果の新任も含めました。

会長 今村和久(十)

副会長 崎田克己(十四)

西本由里子(十八)

岩永晴美(六)

鳥居照子(八)

運営委員 岩永晴美(六)、倉持皓子(七)、門田美智子(八)、鳥居照子(八)、王尾京子(九)、中野凱美(十)、松田百代(十四)、西本由里子(十八)、寺野尚子(二十二)、富士野ゆかり(二十二)、P.C担当 須藤 勉(二十五)

顧問 飯村 肇(三)、平森 均(二十二)

以下は今後校友会承認事項です。現時点では未決定ですが、緑窓会

より校友会への提出候補者は次の通りとなりました。

校友会選出理事

中等部候補者 二名

飯村 肇(三)

今村和久(十)

校友会選出評議員

中等部候補者 十名

野村美恵子(五)、倉持皓子(七)、門田美智子(八)、今村和久(十)

中野凱美(十)、崎田克己(十四)、伊藤正道(十五)、西本由里子(十八)、杵家弘和(二十一)、富士野ゆかり(二十二)

以上

以上

中等部便り

★二〇〇四年度人事

部長	大村修文
副部長	布施英俊
教頭	千輝克忠
宗教主任	石丸泰樹
教務委員長	山本節子
指導委員長	朝野圭三
教研委員長	山本与志春
三年学年主任	金子琴江
二年学年主任	有賀実男
一年学年主任	石出道雄

★行事

*三年生(五月二十四日から四泊五日)

磐梯高原(裏磐梯)

*二年生(五月二十五日から三泊四日)

磐梯高原(表磐梯)

*一年生(五月二十七日演劇鑑賞)

(五月二十八日H Rデー)

*フィリピン訪問(三月二十二日)

友情献金の一部をC C W Aキリスト

教精神里親制度を通じて、フィリピ

ンの子ども三人を支援しています。

その子ども達を生徒二人、引率教師

二人が訪問し励ましました。

場 所 マニラ郊外

参加者 四名

*オーストラリア・ホームステイ

毎年、夏期休暇中に行っています。

期 間 八月十四日

場 所 ブリスベン郊外

参加者 二十余名

*韓国訪問

梨花女子大学附属中学校と交流を行

い、参加生徒はホームステイをして

韓国の生活を実体験しています。今

年度も十数名が参加する予定です。

期 間 来年三月二十三日

場 所 ソウル近郊

参加者 未定

事務局便り

秋の銀杏並木、クリスマスツリー、梅に木蓮、そして桜(ウエスレーホール三階の緑窓会の部屋から眺める桜がとてきれいです。)学院の校内の四季を楽しみながら、今年も「緑窓会の日」が近づいてきました。

コンピューターの再整備も担当の方々のご尽力で順調に進み、日々動いている名簿のメンテナンスも迅速に処理できる様になりました。今年も維持会費の納入年度に当り、会計事務も忙しくなりそうです。そこで「同窓会室のお手伝いをして頂けませんか」

緑窓会は、若干名の代表幹事の方のボランティアによって運営されています。名簿の管理が主な仕事です。火曜日の十一時から五時までの間で、ご都合の良い時間に月一度でも結構です。お友達とご一緒にどうぞお出かけ下さい。(交通費のみ差し上げます。)

尚、現在は三期から二十五期の方々が忙しい中、ランチタイムやティータ임을楽しみながら仕事をしています。若い期の方々の参加も大歓迎です。緑窓会室 ○三三四九八―五三八七ご連絡お待ちしております。

2003(平成15)年度収支計算書

自 2003(平成15)年 4月 1日
至 2004(平成16)年 3月 31日

青山学院中等部緑窓会

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
会報作成費	867,195	会費収入	
会報発送費	1,171,487	2003年度入会金	822,000
会務用品費	31,503	55期274名維持会費	1,363,000
会議用品費	224,572	諸収入	
交通熱費	67,904	預金利息	817
水道光熱費	198,660	寄付収入	61,000
通信借料	12,000	雑収入	10,200
賃借料	170,850	(名簿収入)	
修繕費	57,769		
備品購入費	44,253		
雑費	420,525		
	40,129		
本年度支出合計	3,306,847	本年度収入合計	2,257,017
当年度収支差額	-1,049,830	前年度繰越収支差額	7,435,922
次年度繰越収支差額	6,386,092		

緑窓会会計報告

会長 今村和久 会計 岩永晴美 監事 木村敏夫
副会長 飯村村野 同 王尾京子 同 平森均